

## '11 後期 理系 ③

提出 年 月 日 名前

$k$  を実数とし,  $x \geq 0$  に対して  $f(x) = xe^{-x}$ ,  $g(x) = kx$  と定める. ただし,  $e = 2.7182\dots$  は自然対数の底である.

(1)  $0 < x \leq 2$  の範囲に  $f(x) = g(x)$  を満たす  $x$  がただ 1 つ存在するための  $k$  の範囲を求めよ.

(2)  $k$  が (1) の範囲にあるとき, (1) で定まる  $x$  を  $a$  とする. 積分  $\int_0^a f(x) dx$  の値を  $k$  を用いて表せ.

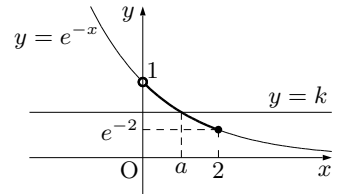
(3)  $k$  が (1) の範囲にあるとき, 積分  $\int_0^2 |f(x) - g(x)| dx$  の値が最小となる  $k$  を求めよ.

’11 後期 理系 ③

$k$  を実数とし、 $x \geq 0$  に対して  $f(x) = xe^{-x}$ ,  $g(x) = kx$  と定める。ただし、 $e = 2.7182 \dots$  は自然対数の底である。

- (1)  $0 < x \leq 2$  の範囲に  $f(x) = g(x)$  を満たす  $x$  がただ 1 つ存在するための  $k$  の範囲を求めよ。  
 (2)  $k$  が (1) の範囲にあるとき、(1) で定まる  $x$  を  $a$  とする。積分  $\int_0^a f(x) dx$  の値を  $k$  を用いて表せ。  
 (3)  $k$  が (1) の範囲にあるとき、積分  $\int_0^2 |f(x) - g(x)| dx$  の値が最小となる  $k$  を求めよ。

- (1)  $x > 0$  において、 $f(x) = g(x) \iff xe^{-x} = kx \iff e^{-x} = k$  ( $x \neq 0$  より)  
 なので  
 $0 < x \leq 2$  の範囲に  $f(x) = g(x)$  を満たす  $x$  がただ 1 つ存在する  
 $\iff 0 < x \leq 2$  の範囲に  $y = e^{-x}$  と  $y = k$  のグラフの交点がただ 1 つ存在する  
 $\iff \boxed{e^{-2} \leq k < 1}$



- (2) (1) より  $e^{-a} = k \iff a = -\log k$  なので、  
 $\int_0^a f(x) dx = \left[ -(x+1)e^{-x} \right]_0^a = -(a+1)e^{-a} + 1 = \boxed{(\log k - 1)k + 1}$

$$\begin{aligned} \{-xe^{-x}\}' &= xe^{-x} - e^{-x} \\ +) \{-e^{-x}\}' &= e^{-x} \\ \{-(x+1)e^{-x}\}' &= xe^{-x} \end{aligned}$$

- (3) (1) のグラフより  
 $0 \leq x \leq a$  のとき  $e^{-x} \geq k \iff f(x) \geq g(x)$  ( $x \geq 0$  より)  
 $a \leq x \leq 2$  のとき  $e^{-x} \leq k \iff f(x) \leq g(x)$  ( $x \geq 0$  より)  
 よって  $h(k) = \int_0^2 |f(x) - g(x)| dx$  とおくと、  

$$h(k) = \int_0^a (xe^{-x} - kx) dx + \int_a^2 (-xe^{-x} + kx) dx$$

$$= \left[ -(x+1)e^{-x} - \frac{kx^2}{2} \right]_0^a + \left[ (x+1)e^{-x} + \frac{kx^2}{2} \right]_a^2$$

$$= -(a+1)e^{-a} + 1 - \frac{ka^2}{2} + 3e^{-2} - (a+1)e^{-a} + 2k - \frac{ka^2}{2}$$

$$= 2(\log k - 1)k - k(\log k)^2 + 1 + 3e^{-2} + 2k$$

$$= -k(\log k)^2 + 2k \log k + 1 + 3e^{-2}$$

$$\begin{aligned} h'(k) &= -(\log k)^2 - 2k(\log k) \cdot \frac{1}{k} + 2 \log k + 2k \cdot \frac{1}{k} \\ &= -(\log k)^2 + 2 \\ &= -(\log k + \sqrt{2})(\log k - \sqrt{2}) \end{aligned}$$

よって右の増減表を得るので  $h(k)$  が最小となる  $k$  の値は  $\boxed{k = e^{-\sqrt{2}}}$

$k$	$e^{-2}$	$\dots$	$e^{-\sqrt{2}}$	$\dots$	1
$h'(k)$	-	-	0	+	+
$h(k)$		$\searrow$		$\nearrow$	

【別解】最小値を与える  $k$  の値だけ求めたいので積分を計算する必要は無い

- (1) のグラフより  
 $0 \leq x \leq a$  のとき  $e^{-x} \geq k \iff f(x) \geq g(x)$  ( $x \geq 0$  より)  
 $a \leq x \leq 2$  のとき  $e^{-x} \leq k \iff f(x) \leq g(x)$  ( $x \geq 0$  より)  
 よって  $H(a) = \int_0^2 |f(x) - g(x)| dx$  とおくと、  

$$H(a) = \int_0^a (xe^{-x} - kx) dx + \int_a^2 (-xe^{-x} + kx) dx$$

$$= \int_0^a xe^{-x} dx - e^{-a} \int_0^a x dx + \int_a^2 xe^{-x} dx - e^{-a} \int_a^2 x dx$$

$$H'(a) = ae^{-a} + e^{-a} \int_0^a x dx - ae^{-a} + ae^{-a} + e^{-a} \int_a^2 x dx - ae^{-a}$$

$$= e^{-a} \left[ \frac{x^2}{2} \right]_0^a + e^{-a} \left[ \frac{x^2}{2} \right]_a^2$$

$$= (a^2 - 2)e^{-a}$$

$$= (a + \sqrt{2})(a - \sqrt{2})e^{-a}$$

よって右の増減表を得るので  $H(a)$  が最小となる  $k$  の値は

$$a = \sqrt{2} \iff \boxed{k = e^{-\sqrt{2}}}$$

$a$	0	$\dots$	$\sqrt{2}$	$\dots$	2
$H'(a)$	-	-	0	+	+
$H(a)$		$\searrow$		$\nearrow$	